

新規事業評価調書

【砂防事業】

本谷川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (砂防係長 山田弘)	内線	4459 (4465)
------	-----------------	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業 種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 <small>ほんたにがわ</small> 本谷川	篠山市 <small>さいくじょ</small> 細工所	内用地 補償費	0.1億円
所在地			着手予定年度	完了予定年度	
篠山市細工所			平成26年度	平成28年度	
事業目的			事業内容		
<p>土石流対策 当溪流は土石流発生の危険性が高いことから、土石流危険溪流となっており、保全対象は人家21戸、公民館、国道等がある。 そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>・砂防えん堤工 1基 (高さ9.0m,長さ100.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>(一)加古川水系篠山川に流入する土石流危険溪流である。近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。 溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>				
(2)有効性・効率性	警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
[事業執行環境]	地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。				
(4)優先性	保全対象には人家21戸、公民館、国道などがあり、流域の荒廃が進行している。そのため、地元要望も強く、協力体制も見込めることから、早期事業着手を図る。				

ほんたにがわ
本谷川
[篠山市]



計画概略図

